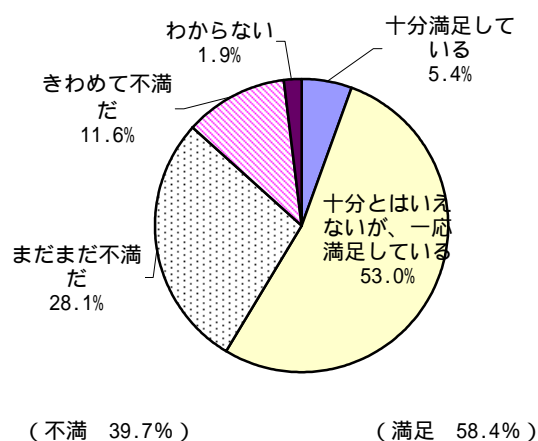


問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 十分満足している	5.4
2 十分とはいえないが、一応満足している	53.0
3 まだまだ不満だ	28.1
4 きわめて不満だ	11.6
5 わからない	1.9

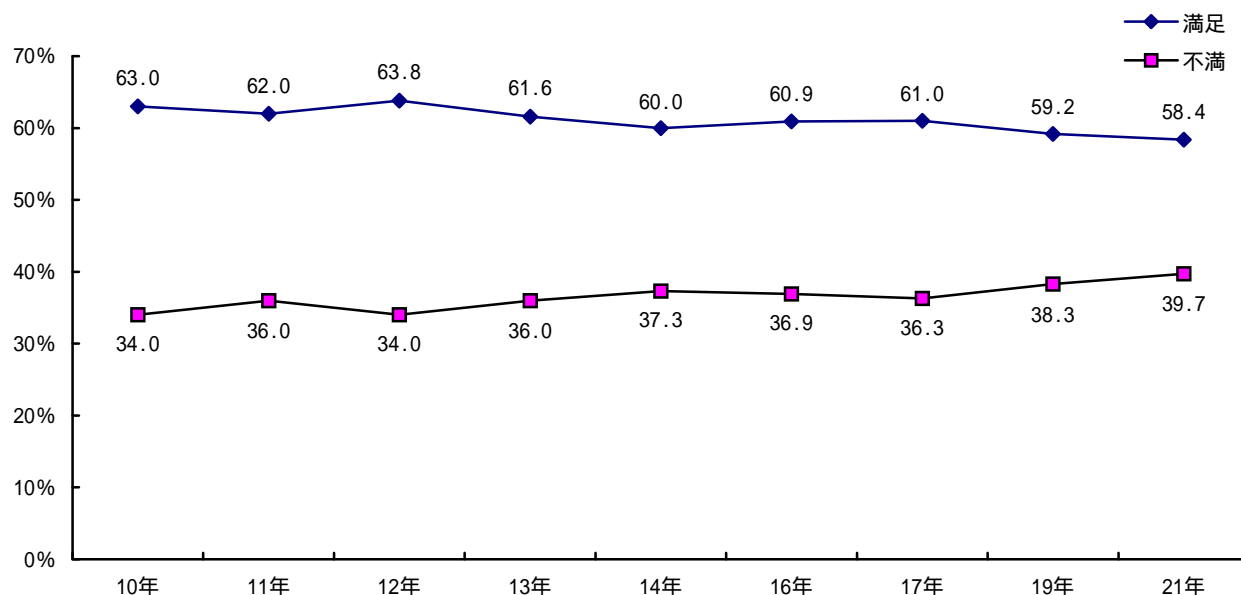
現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が58.4%（「十分満足している」（5.4%）、「十分とはいえないが、一応満足している」（53.0%））であったのに対し、「不満」は39.7%（「まだまだ不満だ」（28.1%）、「きわめて不満だ」（11.6%））で、現在の暮らしに満足していると感じている人の方が多くなっている。



【経年変化】

経年変化を見ると、「満足」と答えた人の割合は微減傾向にあり、今回も前回調査と比較して0.8%減少しており、平成10年調査以降では最も少なくなっている。

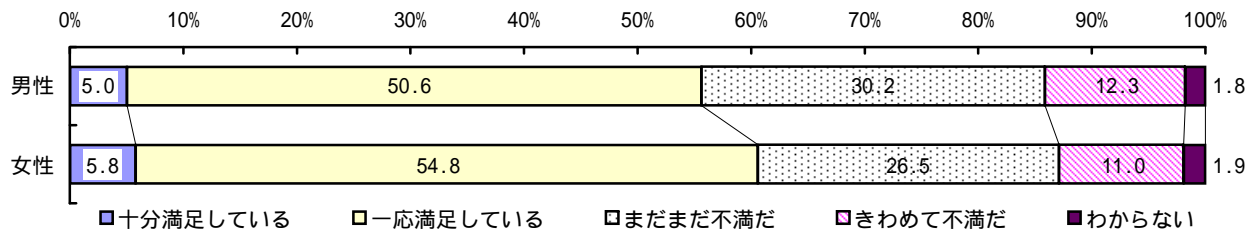
一方、「不満」と答えた人の割合は微増傾向にあり、今回は前回調査より1.4%増加し、平成10年調査以降では最も多くなっている。



【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で55.6%、女性で60.6%とどちらも50%を超えているが、現在の暮らしに満足していると感じている人は、女性の方が5.0%多くなっている。（前回調査でも女性の方が12.3%多かった。）

一方、「不満」と答えた人の割合は、男性が42.5%、女性が37.5%で男性の方が5.0%多くなっている。（前回調査でも男性の方が14.5%多かった。）

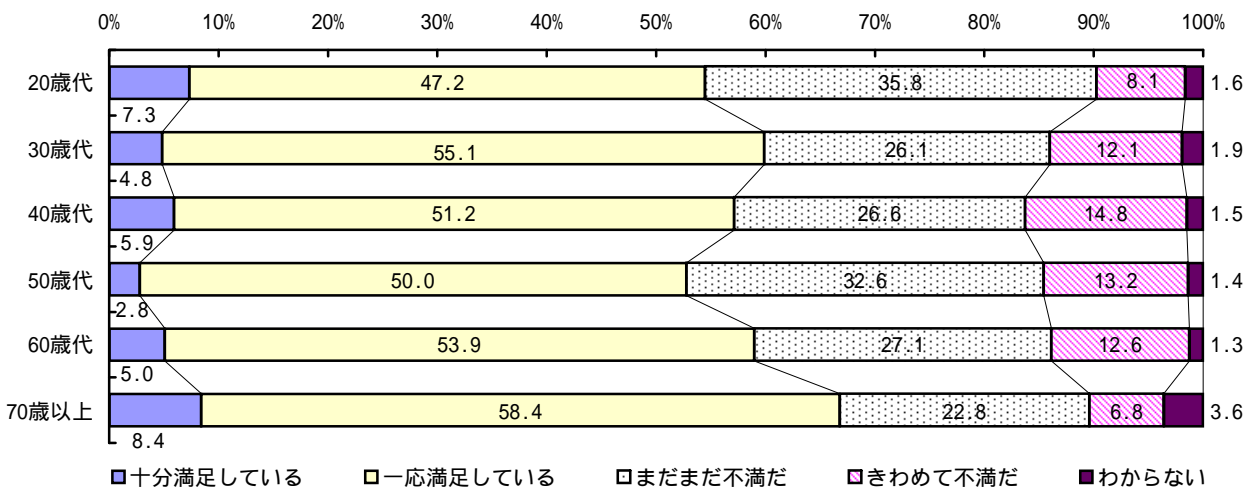


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも70歳以上（「満足」：66.8%、「不満」：29.6%）で特に大きく上回っているほか、「満足」は30歳代（59.9%）及び60歳代（58.9%）でも他の年齢層に比べて多くなっている。

一方、「不満」と答えた人の割合は50歳代（45.8%）で最も多く、以下20歳代（43.9%）、40歳代（41.4%）の順となっている。

また、前回調査と比較すると、「不満」と答えた人の割合が20歳代で10.6%増加しており、「きわめて不満だ」が40歳代で9.6%増加している。

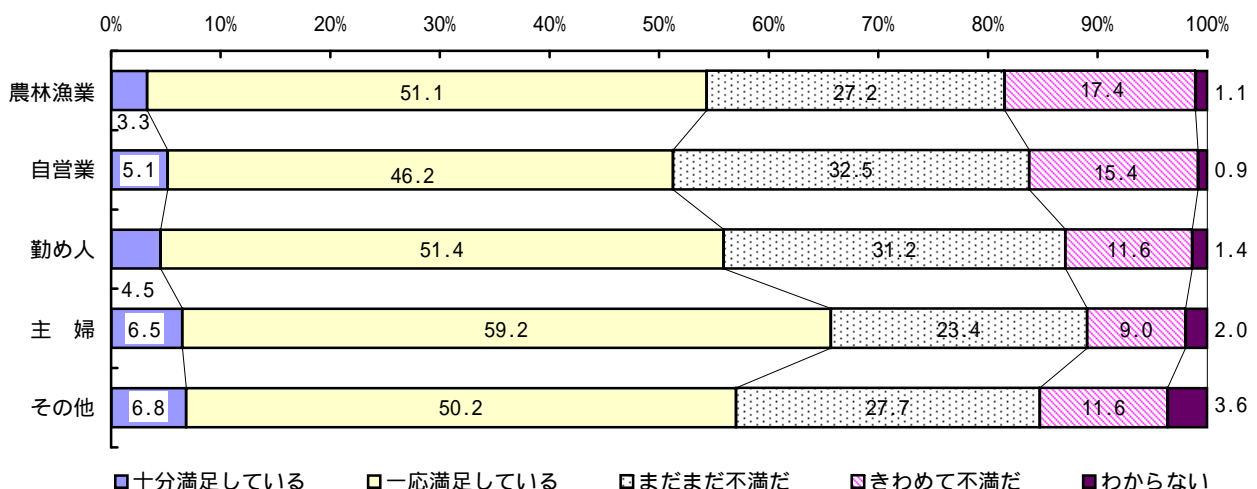


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも主婦（「満足」：65.7%、「不満」：32.4%）で特に大きく上回っている。

一方、「不満」と答えた人の割合は自営業（47.9%）で最も多く、以下農林漁業（44.6%）、勤め人（42.8%）の順となっている。

また、前回調査と比較すると、農林漁業では「不満」と答えた人の割合が0.2%減少とほぼ同じ割合であったが、その内訳をみると、「まだまだ不満だ」が10.7%減少しているのに対し、「きわめて不満だ」が10.5%増加している。

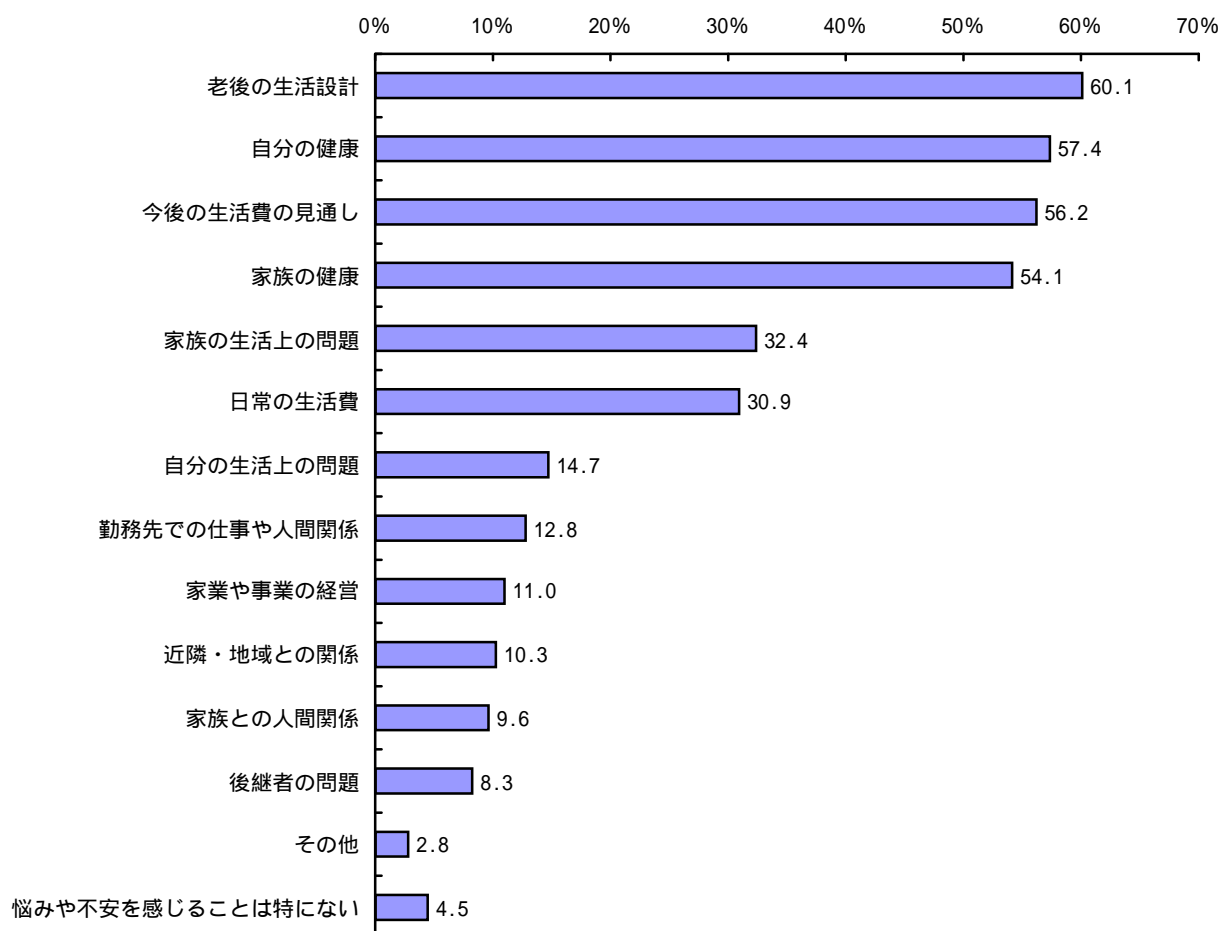


問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつでも選んで番号を で困ってください。

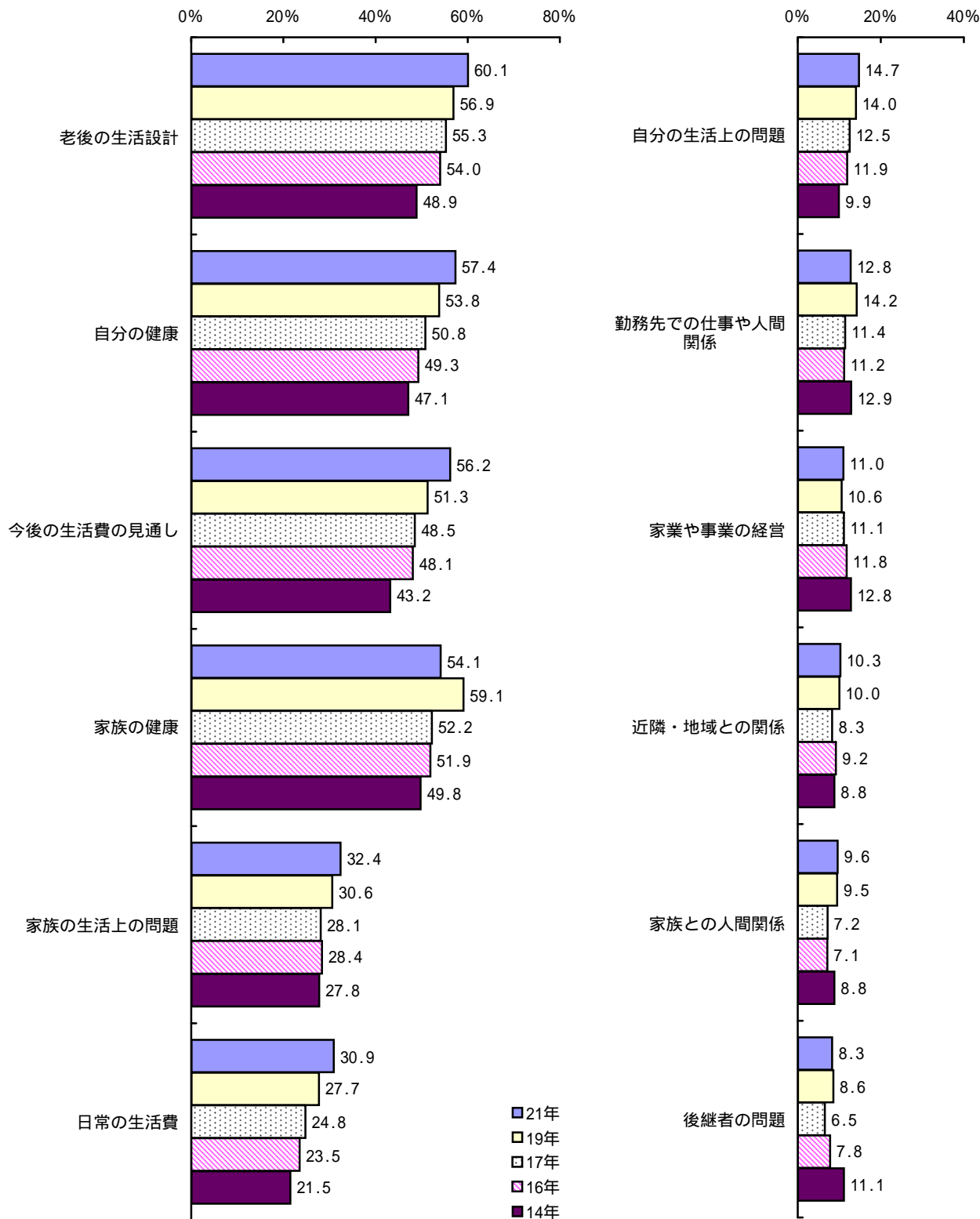
	(複数回答)	(%)
1 自分の健康について		57.4
2 家族の健康について		54.1
3 自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		14.7
4 家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		32.4
5 日常の生活費について		30.9
6 今後の生活費の見通しについて		56.2
7 後継者の問題(家業、農林漁業の将来)について		8.3
8 家業や事業の経営(農林漁業を含む)について		11.0
9 家族との人間関係について		9.6
10 近隣・地域との関係について		10.3
11 勤務先での仕事や人間関係について		12.8
12 老後の生活設計について		60.1
13 その他		2.8
14 悩みや不安を感じることは特にない		4.5

日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「老後の生活設計について」と答えた人の割合が60.1%と最も多く、以下「自分の健康について」(57.4%)、「今後の生活費の見通しについて」(56.2%)、「家族の健康について」(54.1%)の順であり、将来の生活や健康に関する悩みや不安を感じている人が多くなっている。



【経年変化】

経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成14年調査以降大きな変化は見られないが、将来の生活や健康、現在の生活に関する悩みや不安を感じている人が増加傾向にある。
また、「今後の生活費の見通し」と答えた人の割合が前回調査よりも4.9%増加している。

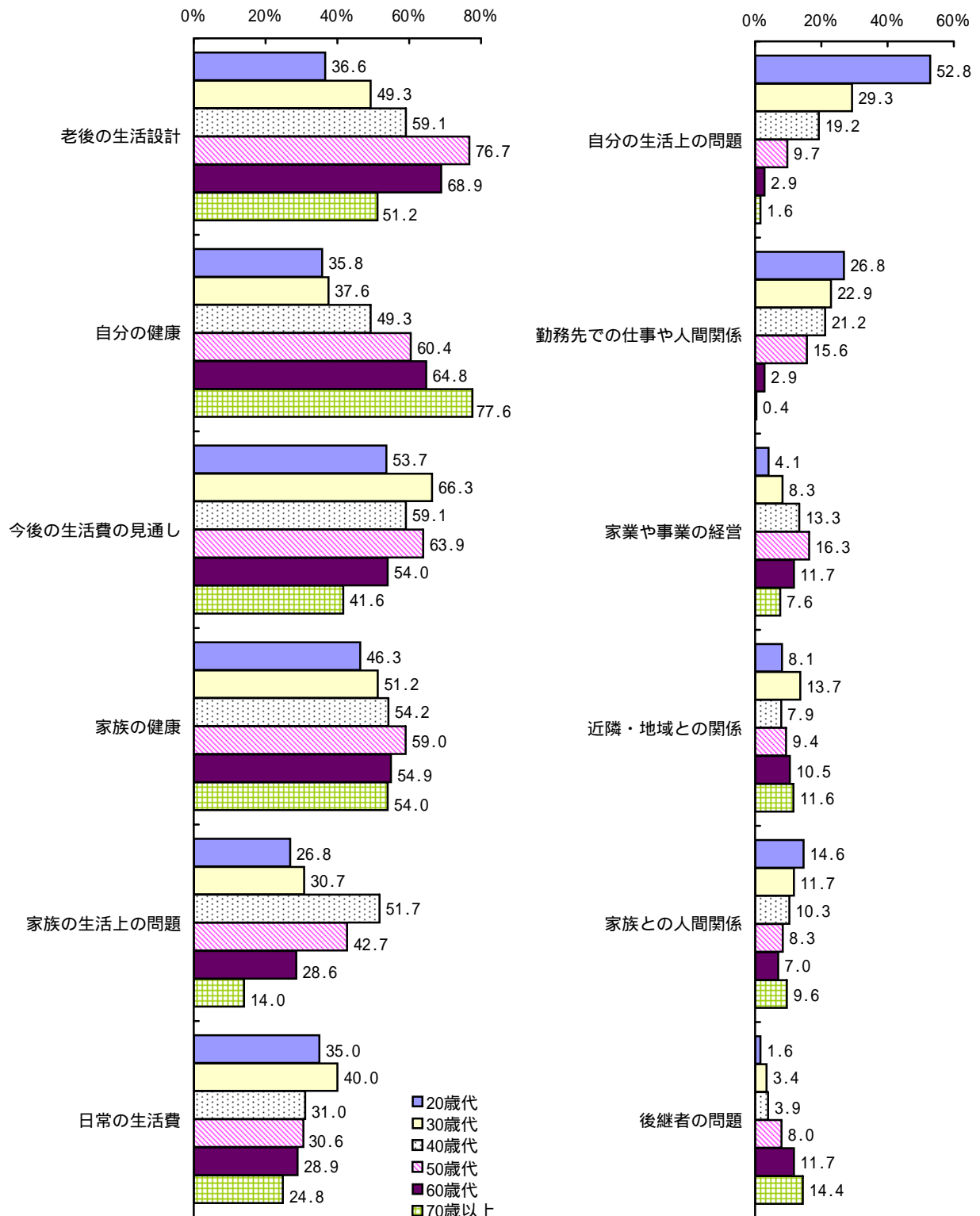


【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「今後の生活費の見通し」、50歳代、60歳代では「老後の生活設計」、40歳代ではこれらの項目が同率で、70歳代では「自分の健康」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、20歳代では「自分の生活上の問題」と答えた人の割合が他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、「家族の生活上の問題」は40歳代、50歳代で他の年齢層と比較して多く、「自分の健康」は年齢が高くなるほど多くなっている。

前回調査と比較すると、「家族の健康」と答えた人の割合が60歳以上（60歳代：11.8%減少、70歳以上：10.3%減少）で大幅に減少しているほか、「日常の生活費」は60歳代（10.7%増加）で、「自分の生活上の問題」は40歳代（9.5%増加）で大幅に増加している。



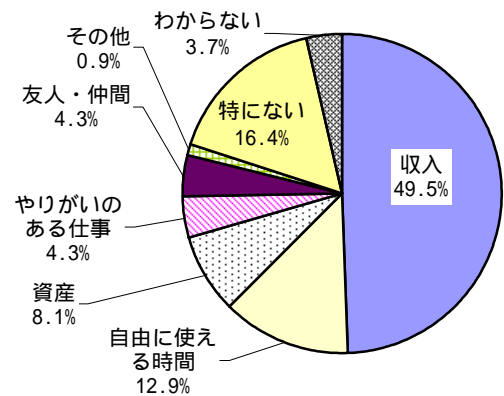
問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 自由に使える時間	12.9
2 収入	49.5
3 資産(土地、家屋、預貯金等)	8.1
4 やりがいのある仕事	4.3
5 友人・仲間	4.3
6 その他	0.9
7 特にない	16.4
8 わからない	3.7

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が49.5%と特に多く、以下「自由に使える時間」(12.9%)、「資産(土地、家屋、預貯金等)」(8.1%)などの順となっている。

また、「特にない」と答えた人の割合が16.4%となっている。

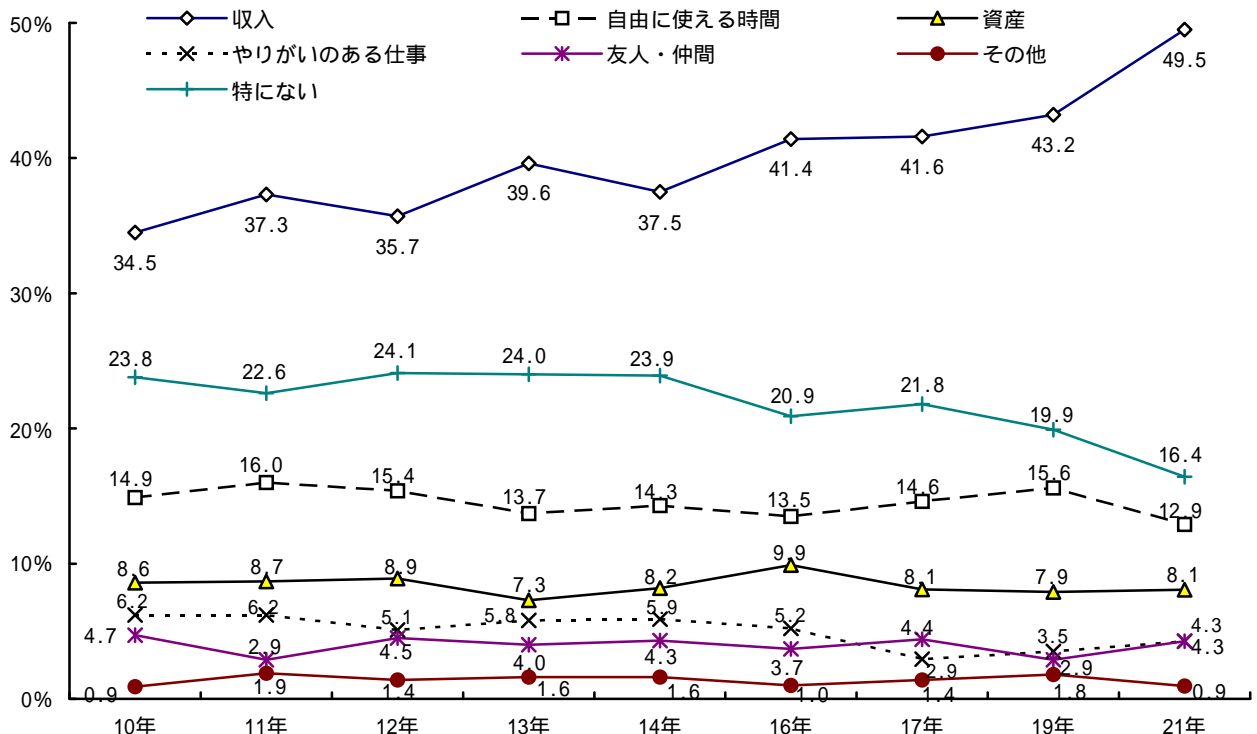


【経年変化】

経年変化を見ると、「収入」と答えた人の割合が平成14年調査以降増加しており、平成10年調査と比較すると15.0%も増加している。さらに、前回調査と比較しても6.3%増加している。

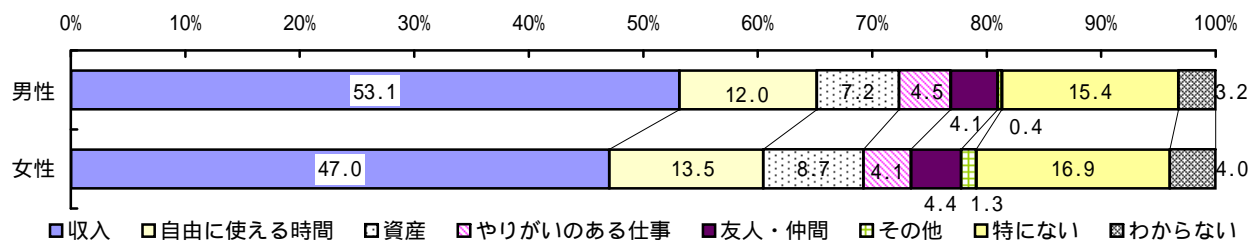
また、「特にない」と答えた人の割合は減少傾向にあり、中でも今回は前回調査より3.5%減少と比較的大きく減少している。

この他、「自由に使える時間」と答えた人の割合が前回調査より2.7%減少しており、平成10年調査以降では最も少なくなっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「収入」と答えた人の割合が最も多く、特に男性（53.1%）は50%を超えており、女性（47.0%）より6.1%多くなっている。（前回調査と比較すると、男女共に6.4%増加）
 また、「自由に使える時間」と答えた人の割合は、女性（13.5%）の方が男性（12.0%）より1.5%多くなっており、前回調査（男性16.4%、女性15.6%）と逆転している。

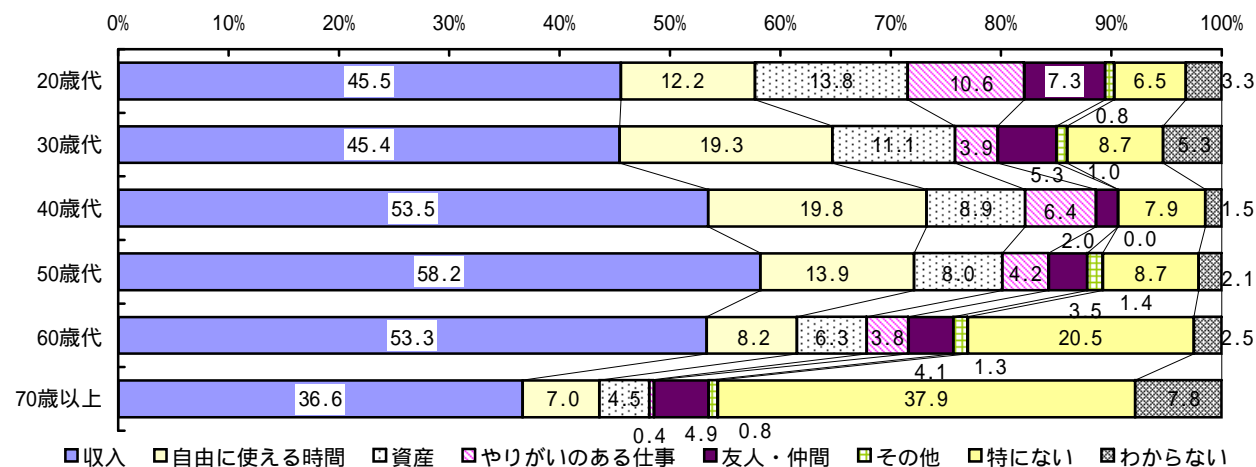


【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上を除く全ての年齢層で「収入」と答えた人の割合が最も多く、中でも50歳代（58.2%）で他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、40歳代及び60歳代では前回調査より大幅に増加している。（40歳代：15.7%増加、60歳代：13.4%増加）

また、70歳以上では「特にない」と答えた人の割合が最も多くなっており、他の年齢層と比較しても特に多くなっている。

この他、「自由に使える時間」と答えた人の割合は30歳代、40歳代（前回調査よりは7.6%減少）で他の年齢層と比較して多くなっており、「やりがいのある仕事」は、概ね年齢が低くなるほど多く、20歳代では10.6%（前回調査より7.7%増加）に達している。

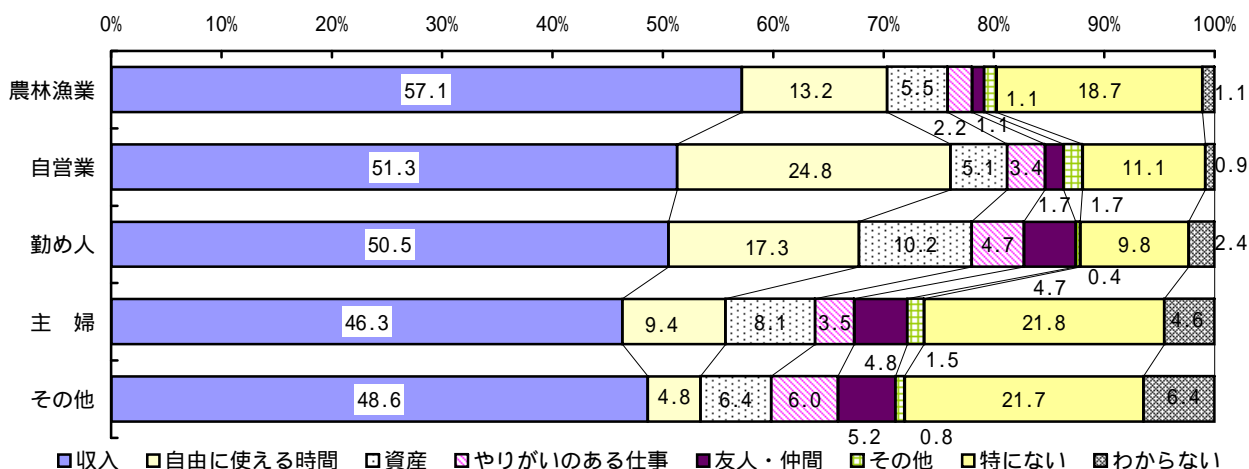


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「収入」と答えた人の割合が最も多く、中でも農林漁業（57.1%）で他の職種と比較して多くなっているほか、勤め人及び主婦では前回調査より大幅に増加している。（勤め人：8.0%増加、主婦：8.9%増加）

また、「自由に使える時間」と答えた人の割合は自営業、勤め人、「特にない」は主婦、その他で、それぞれ他の職種と比較して多くなっている。

この他、全ての職種で「特にない」は減少しているが、中でも自営業では9.5%も減少している。

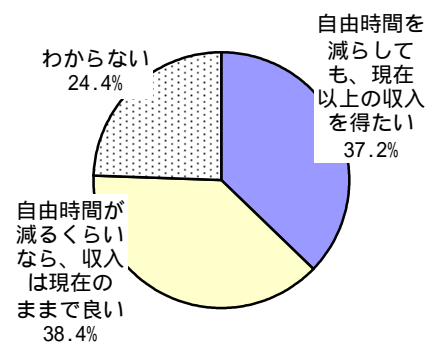


問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んで番号を で囲んでください。

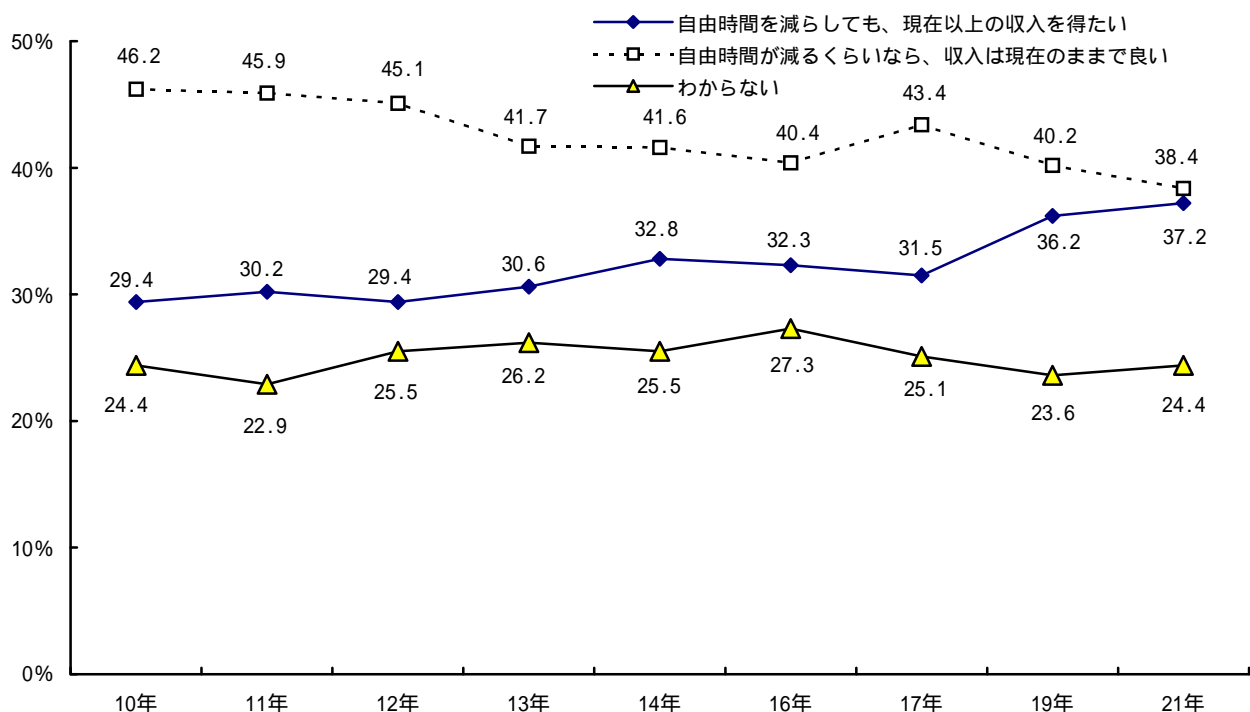
	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	37.2
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	38.4
3 わからない	24.4

自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が37.2%、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」が38.4%で、収入を重視する人と自由時間を重視する人の割合がほぼ同じになっている。



【経年変化】

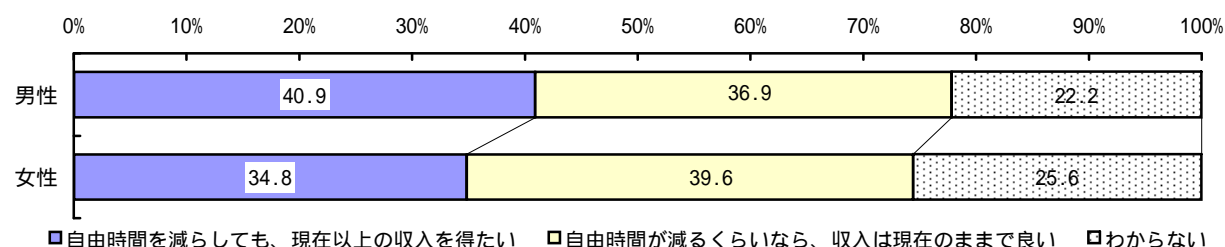
経年変化をみると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合と「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の差は、年々縮まる傾向にあるが、特に平成17年調査以降、その差は急激に縮まり、今回は、ほぼ同じ割合となっている。平成10年調査と比較すると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」は7.8%増加しており、反対に「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」は7.8%減少している。



【性別】

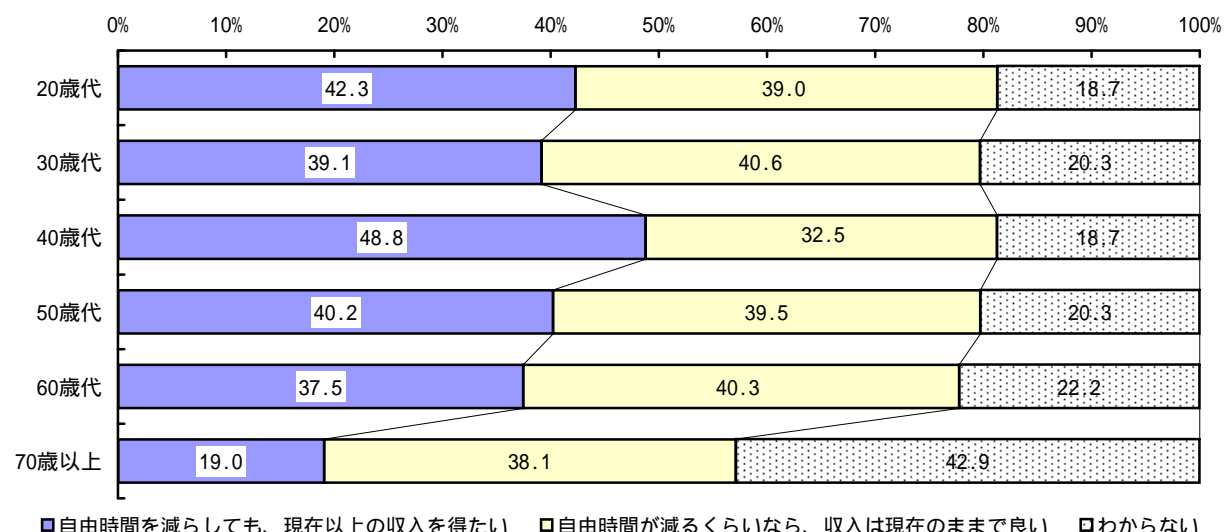
性別にみると、男性では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、反対に女性では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」の方が多くなっている。

また、前回調査と比較すると、全体的に同じ傾向であるが、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」が女性で2.4%増加している。



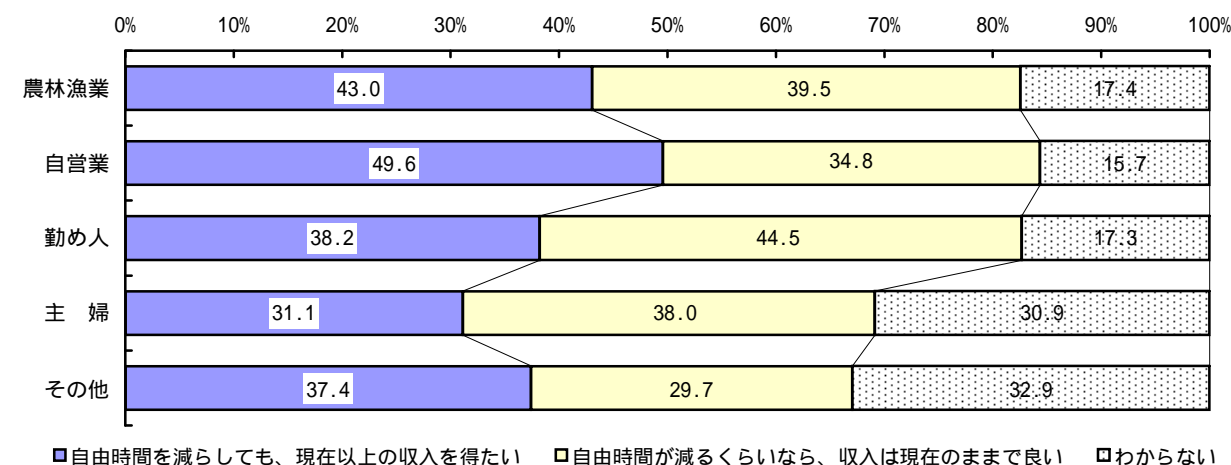
【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、40歳代、50歳代では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、中でも40歳代（48.8%：前回調査より6.7%増加）では、他の年齢層と比較して特に多く、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」を大幅に上回っている。30歳代、60歳代以上では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」の方が多くなっているが、60歳代では前回調査より16.2%も減少している。



【職業別】

職業別にみると、農林漁業、自営業、その他では「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合の方が多く、中でも自営業（49.6%：前回調査より5.5%増加）で他の職種と比較して特に多くなっているほか、その他では前回調査より6.9%増加している。勤め人、主婦では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」の方が多くなっている。

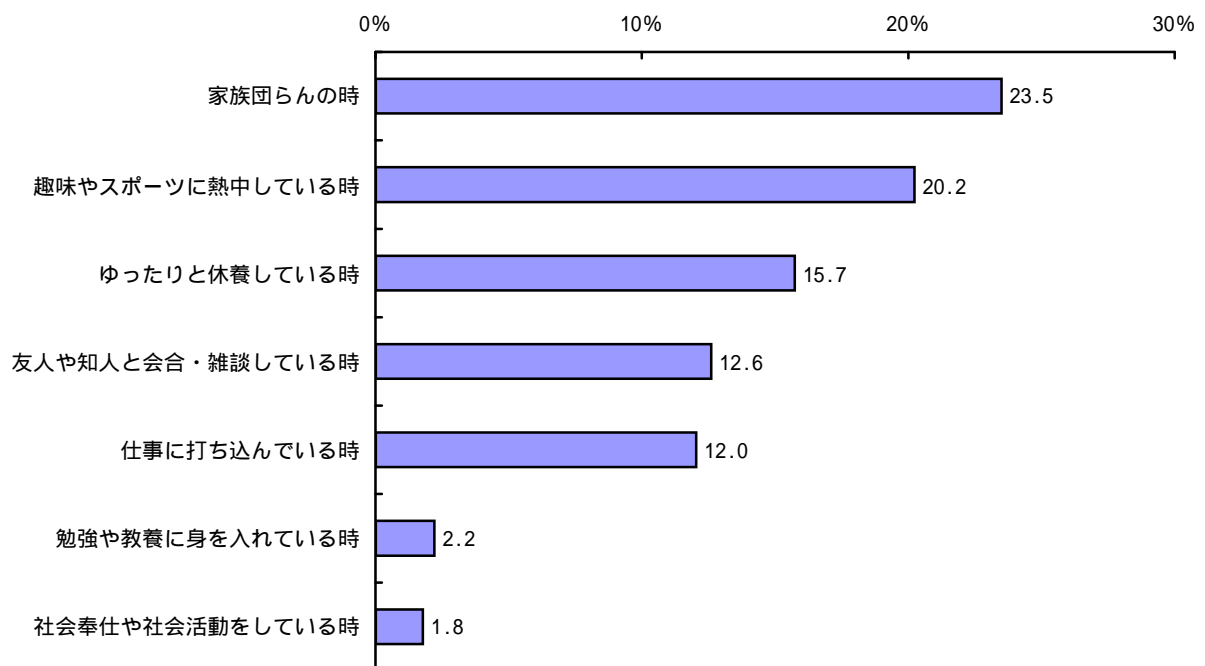


問10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	12.0
2 勉強や教養に身を入れている時	2.2
3 趣味やスポーツに熱中している時	20.2
4 ゆったりと休養している時	15.7
5 家族団らんの時	23.5
6 友人や知人と会合・雑談している時	12.6
7 社会奉仕や社会活動をしている時	1.8
8 その他	0.8
9 特にない	9.1
10 わからない	2.0

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が23.5%と最も多く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(20.2%)、「ゆったりと休養している時」(15.7%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(12.6%)、「仕事に打ち込んでいる時」(12.0%)などの順となっている。

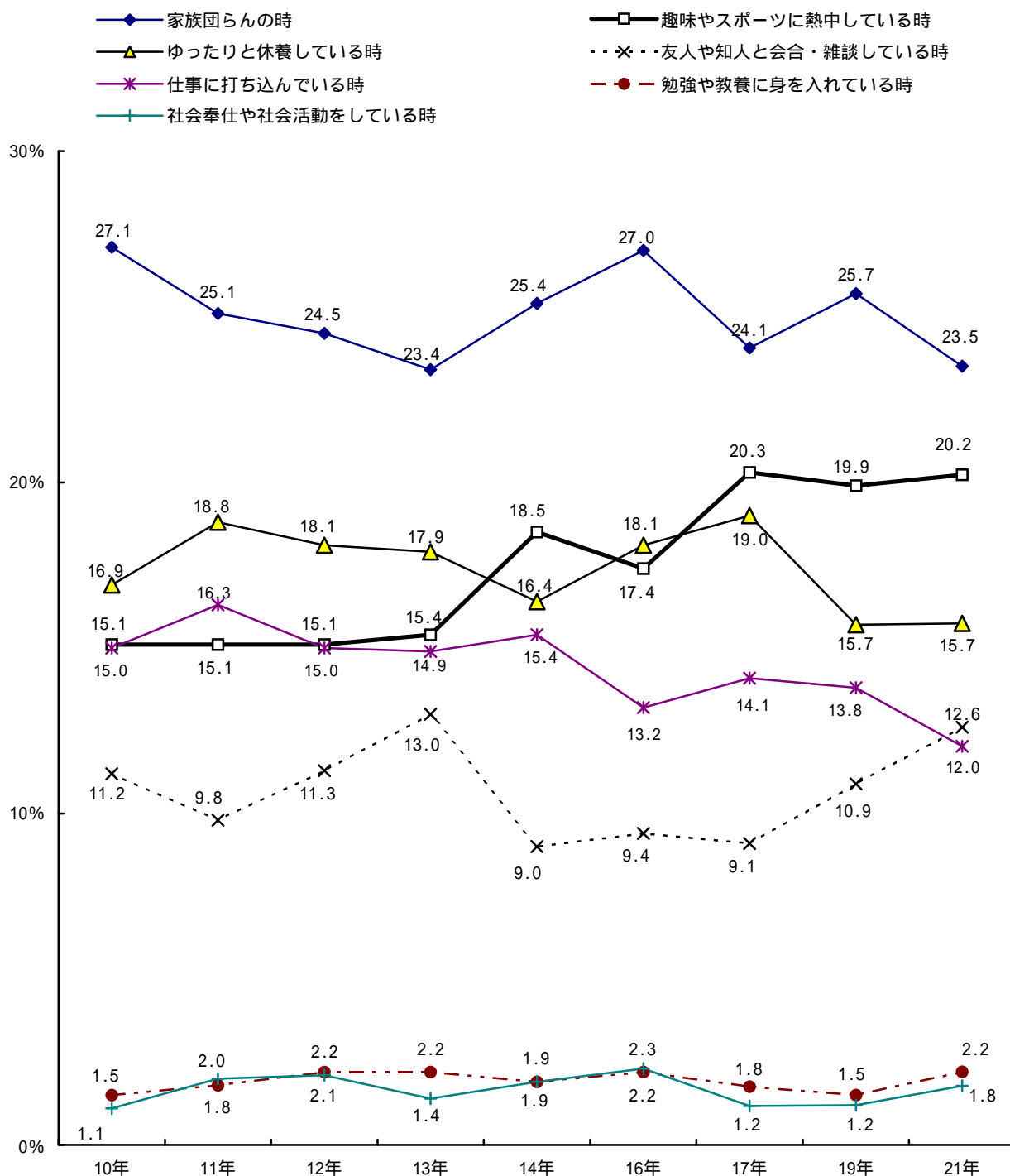


【経年変化】

経年変化をみると、平成10年調査以降では「家族団らんの時」と答えた人の割合が25%前後で最も多くなっているが、今回は前回調査より2.2%減少している。

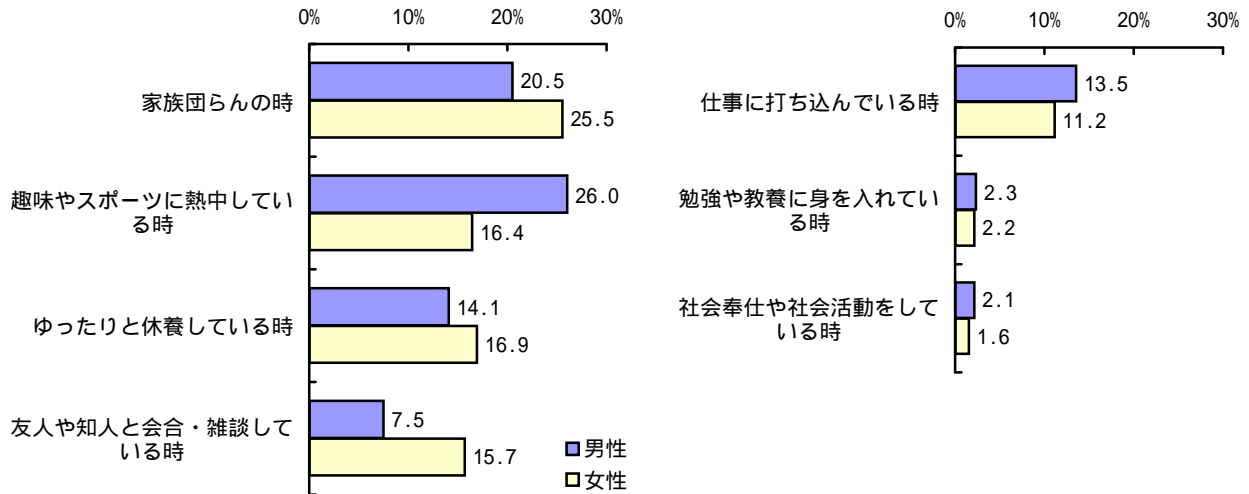
また、「趣味やスポーツに熱中している時」は平成12年調査以降増加傾向にあったが平成17年調査以降は20%程度で大きな変化がない。

この他、平成17年調査以降減少している「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合が前回調査より1.8%減少し、同時期から増加している「友人や知人と会合・雑談している時」が前回調査より1.7%増加し、平成10年調査以降では初めて順位が入れ替わってる。



性別にみると、男性では「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合が最も多く、女性よりも9.6%多くなっている。一方、女性では「家族団らんの時」が最も多く、男性よりも5.0%多くなっている。

また、前回調査と比較すると、全体的に男女共に同じ傾向であるが、男性では「家族団らんの時」(3.6%減少)及び「仕事に打ち込んでいる時」(2.7%減少)と答えた人の割合が、女性では「友人や知人と会合・雑談している時」(2.3%増加)が比較的大きく変化している。

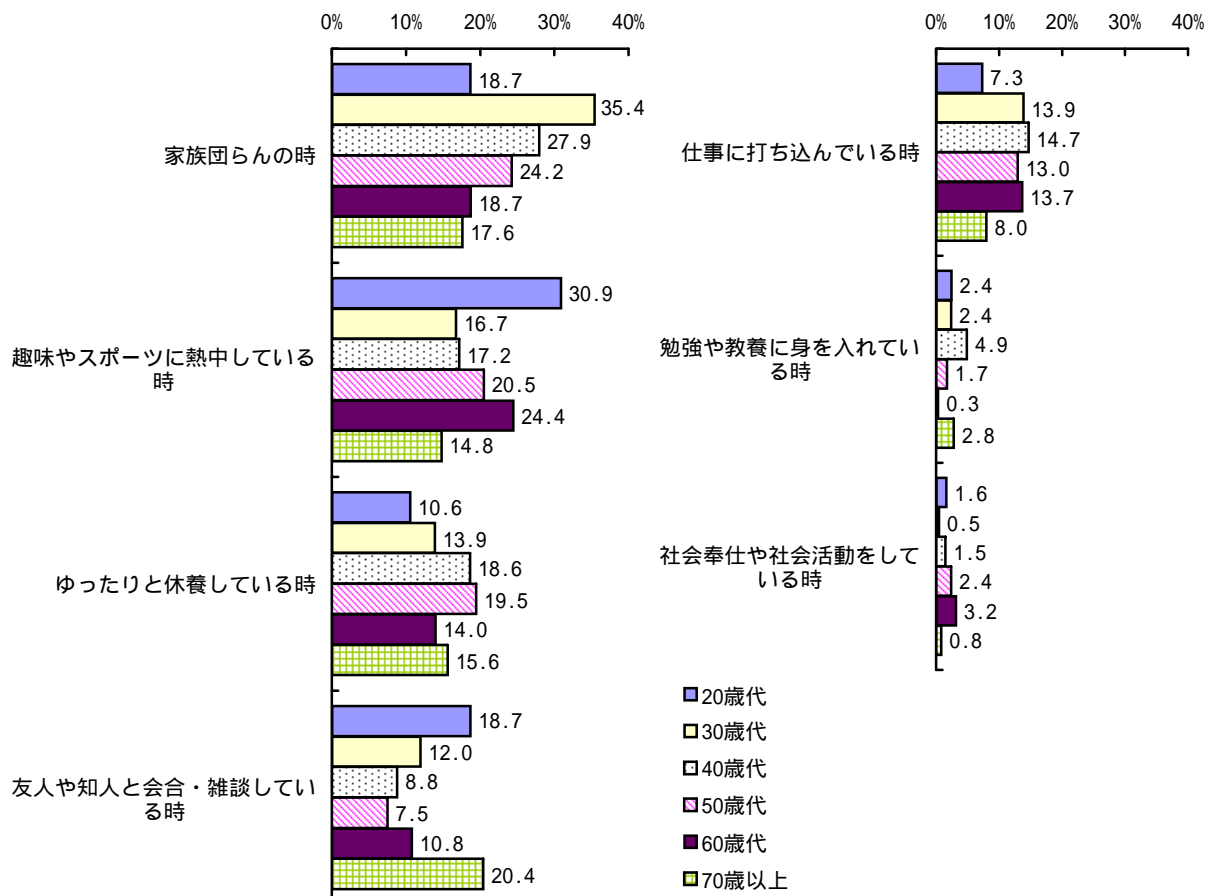


【年齢別】

年齢別にみると、30歳代、40歳代、50歳代では「家族団らんの時」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代(35.4%)は他の年齢層と比較して特になくなっている。20歳代、60歳代では「趣味やスポーツに熱中している時」が最も多く、中でも20歳代(30.9%：前回調査より7.7%増加)は他の年齢層と比較して特になくなっている。70歳以上では「友人や知人と会合・雑談している時」が最も多く(前回調査より11.6%増加)なっている。

また、「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合は40歳代、50歳代で、「友人や知人と会合・雑談している時」は20歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

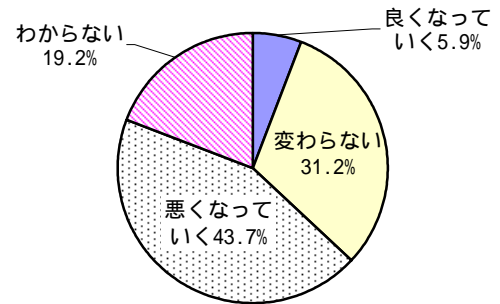
この他、前回調査と比較すると、「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合が30歳代(7.9%増加)、50歳代(8.8%減少)、70歳以上(7.8%減少)で大きく変化している。



お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

番号	内容	(%)
1	良くなっていく	5.9
2	変わらない	31.2
3	悪くなっていく	43.7
4	わからない	19.2

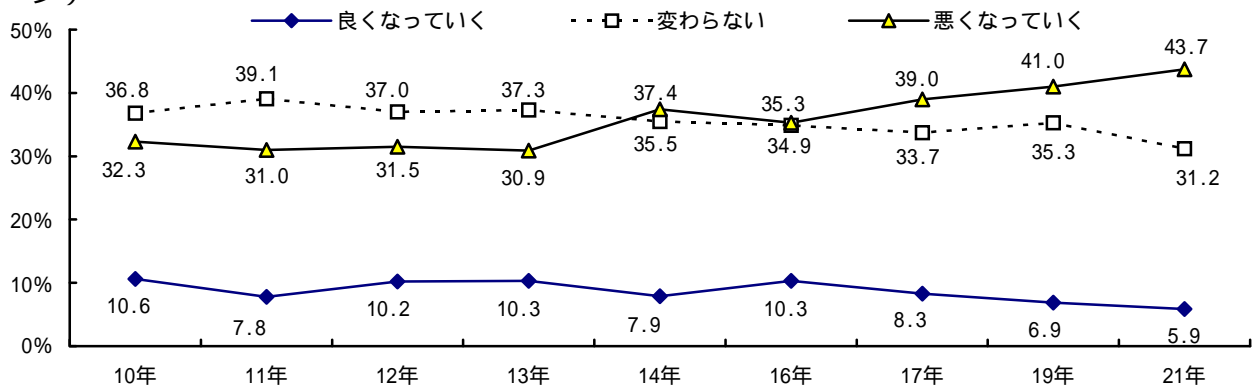
暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「悪くなっていく」と答えた人の割合が43.7%と最も多く、「変わらない」が31.2%、「良くなっていく」が5.9%となっている。



【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、平成16年調査以降増加を続け、平成10年調査以降では最も多くなっており、最も少なかった平成13年調査と比較すると12.8%も増加している。(前回調査と比較しても2.7%増加)

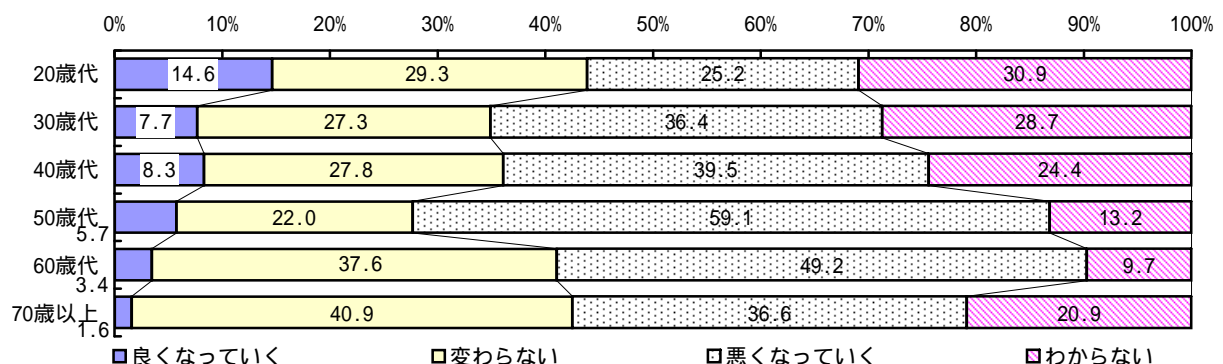
また、「良くなっていく」と答えた人の割合は、平成10年調査以降では最も少なくなっており、特に減少傾向が始まった平成16年調査と比較すると4.4%減少している。(前回調査と比較しても1.0%減少)



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代から60歳代では「悪くなっていく」と答えた人の割合が最も多く、中でも50歳代(59.1%：前回調査より8.3%増加)、60歳代(49.2%)で他の年齢層と比較して特に多くなっている。20歳代では「わからない」が最も多くなっているが、「変わらない」(前回調査より12.7%減少)、「悪くなっていく」(前回調査より7.8%増加)とほぼ均衡している。70歳以上では「変わらない」が最も多くなっている。

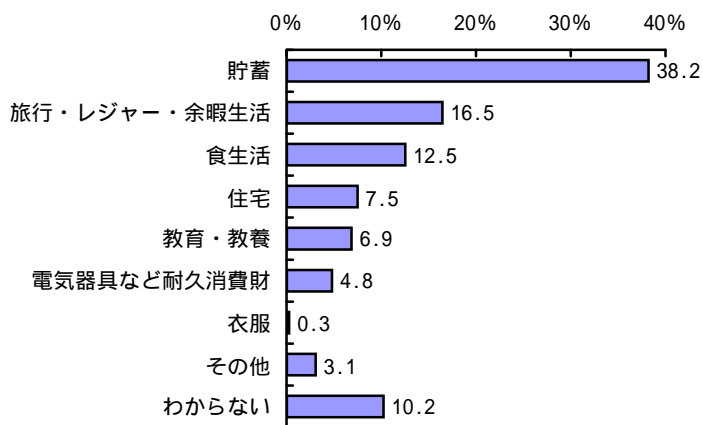
また、「良くなっていく」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高いほど少なくなっており、前回調査と比較すると40歳代(2.5%増加)を除く全ての年齢層で減少している。



今後、お宅の暮らしてどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 食生活	12.5
2 衣服	0.3
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	4.8
4 住宅	7.5
5 貯蓄	38.2
6 教育・教養	6.9
7 旅行・レジャー・余暇生活	16.5
8 その他	3.1
9 わからない	10.2

今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が38.2%と特に多く、以下「旅行・レジャー・余暇生活」(16.5%)、「食生活」(12.5%)、「住宅」(7.5%)、「教育・教養」(6.9%)などの順となっている。

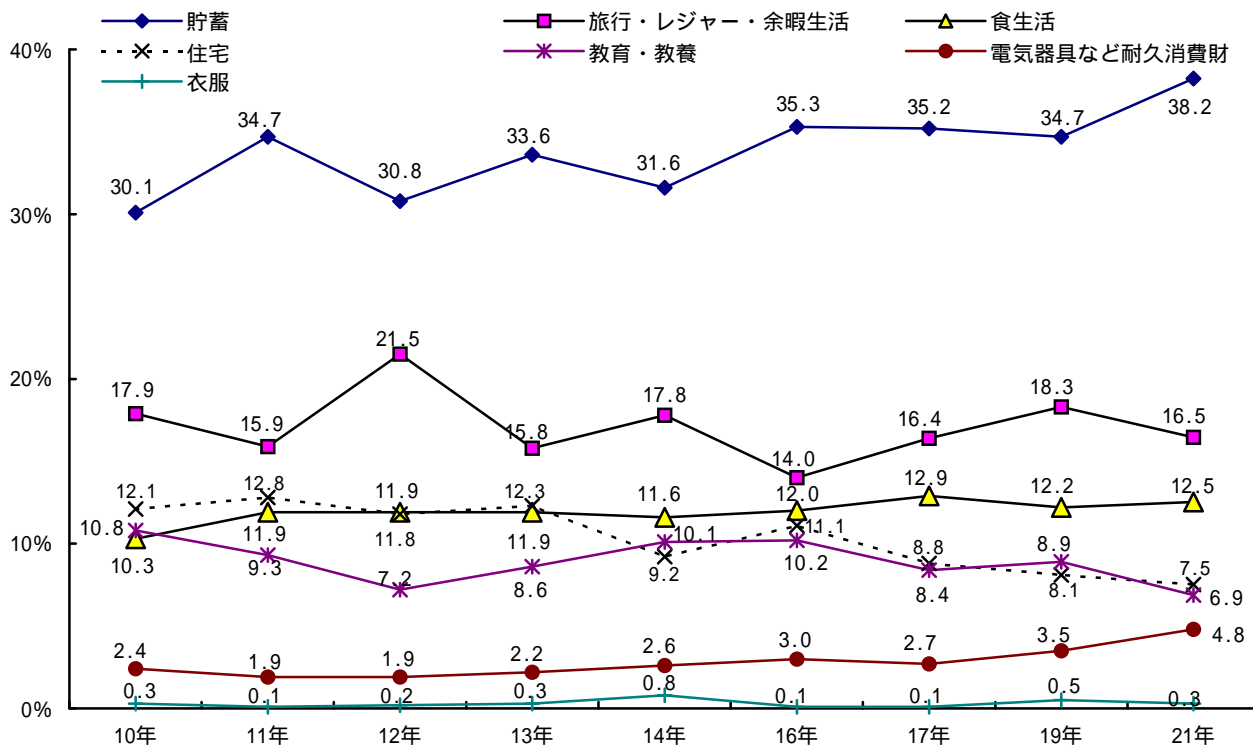


【経年変化】

経年変化をみると、平成10年調査以降では、「貯蓄」と答えた人の割合が毎回第1位となっているが、中でも今回は前回調査より3.5%増加しこれまでで最も多くなっている。

また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、平成16年調査以降増加していたが、今回は前回調査より1.8%減少している。

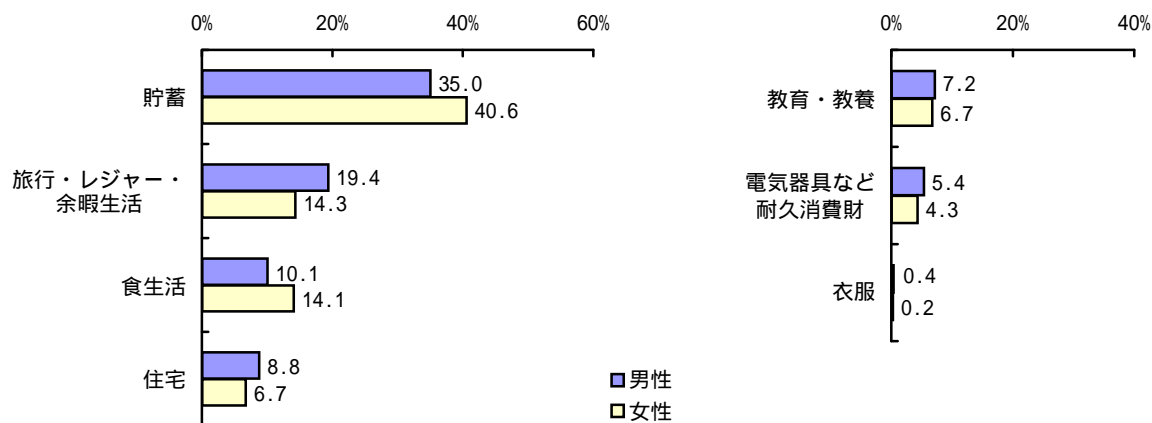
この他、「住宅」及び「教育・教養」と答えた人の割合が共に平成10年調査以降では最も少なくなっており、一方、「電気器具など耐久消費財」は平成10年調査以降では最も多くなっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、女性（40.6%：前回調査より6.7%増加）の方が男性（35.0%）より5.6%多くなっており、前回調査（男性35.6%、女性33.9%）と逆転している。

また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、男性（19.4%）の方が女性（14.3%）より5.1%多くなっており、こちらも前回調査（男性17.7%、女性18.5%）と逆転している。

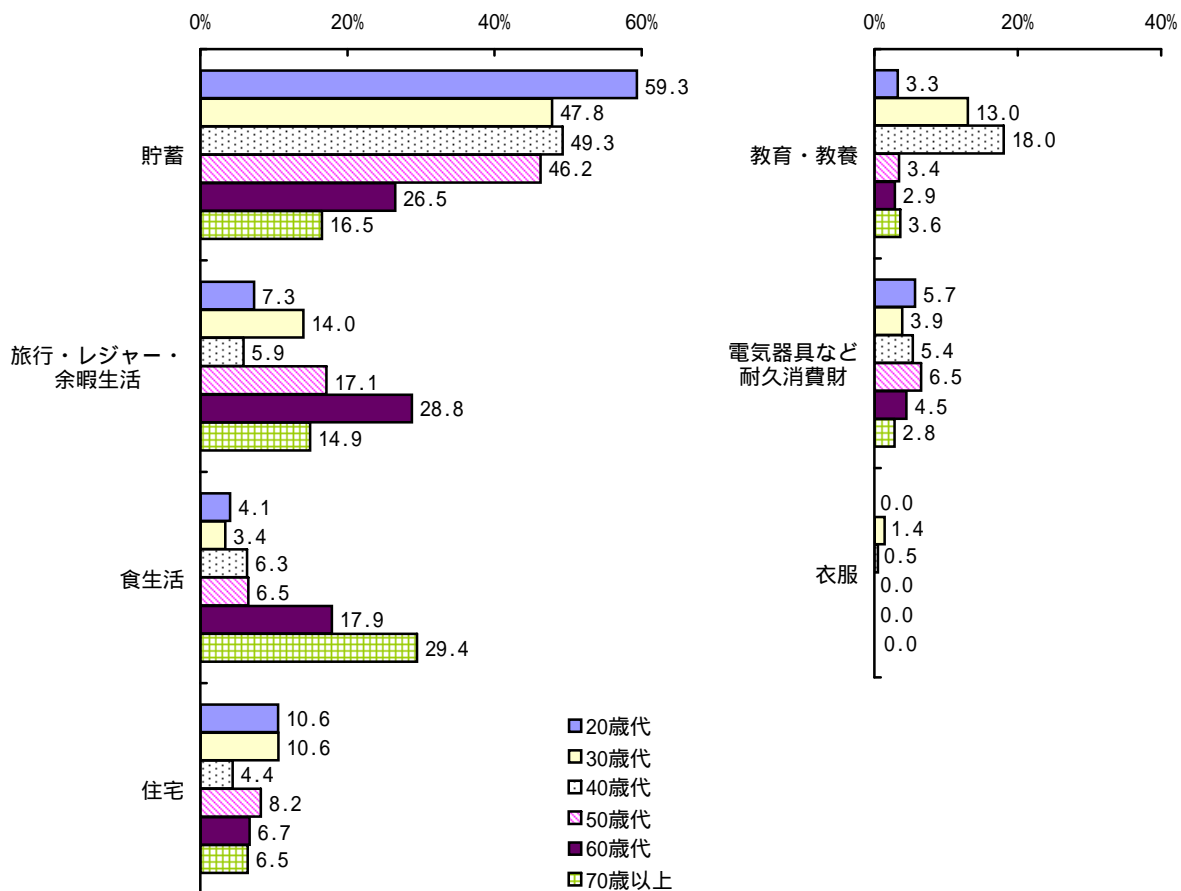


【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から50歳代では「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代（59.3%：前回調査より11.5%増加）は他の年齢層と比較しても特に多くなっている。60歳代では「旅行・レジャー・余暇生活」、70歳以上では「食生活」が最も多くなっている。

また、「食生活」と答えた人の割合は60歳代以上で、「教育・教養」は30歳代、40歳代で他の年齢層と比較して特に多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、「貯蓄」と答えた人の割合が60歳代（9.5%増加）で、「食生活」は60歳代（6.9%減少）、70歳以上（6.7%増加）で大きく変化している。



問13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい	24.5
2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい	21.6
3 一概にはいえない	42.5
4 わからない	11.4

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

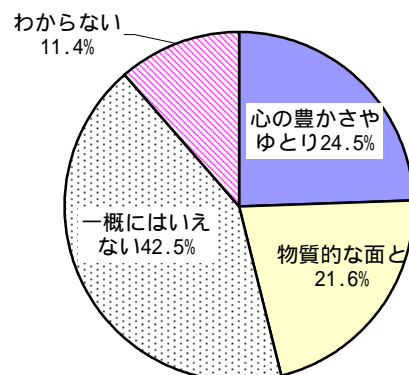
	(回答者 = 341)	(%)
1 精神修養・自己研さんに努める	5.9	5.9
2 趣味や習い事に生きがいを見つける	14.1	14.1
3 健康を大切にする	39.3	39.3
4 家族・友人とのふれあいを大切にする	29.0	29.0
5 社会奉仕など社会のためにつくす	3.8	3.8
6 自然とのふれあいを大切にする	7.3	7.3
7 その他	0.6	0.6
8 わからない	0.0	0.0

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(回答者 = 286)	(%)
1 おいしいものをたびたび食べる	7.3	7.3
2 耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし	26.9	26.9
3 広くて設備の整った家に住む	28.0	28.0
4 趣味・娯楽に関する良いものを購入する	15.0	15.0
5 衣服や身の回りのおしゃれができる	5.9	5.9
6 その他	10.5	10.5
7 わからない	6.3	6.3

今後の暮らしについて、心の豊かさか物の豊かさかどちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が24.5%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（以下「物質的な面」という。）の21.6%を上回っている。

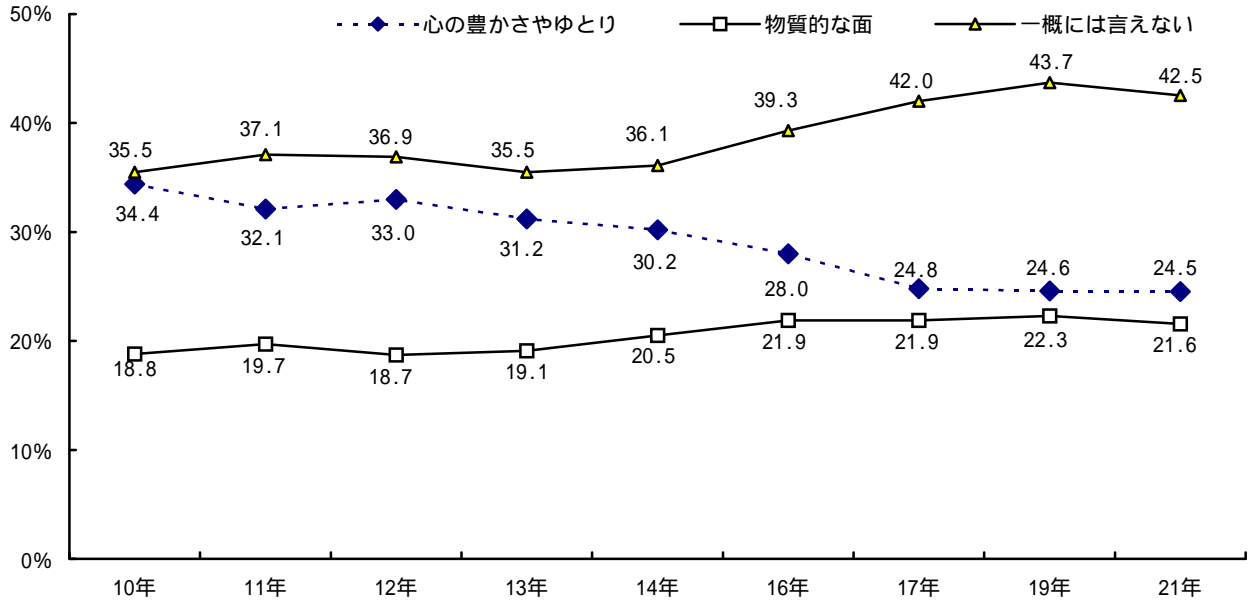
また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は42.5%であった。



【経年変化】

経年変化をみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は減少傾向にあったが、平成17年調査以降は25%程度で大きな変化が見られない。一方、「物質的な面」はやや増加傾向にあったが、平成16年調査以降は22%前後で、こちらも大きな変化が見られない。

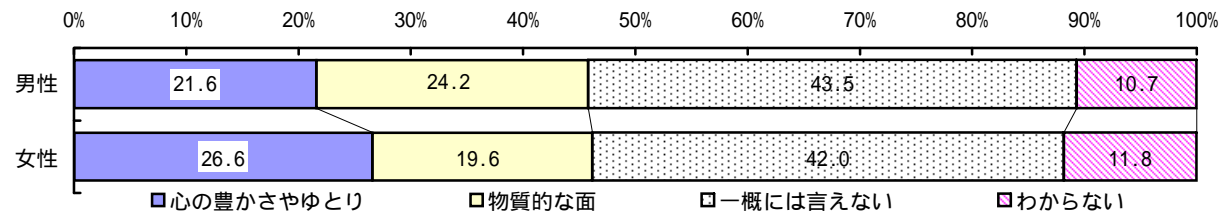
また、「一概には言えない」と答えた人の割合は、平成13年調査以降増加していたが、今回は前回調査より1.2%減少した。



【性別】

性別にみると、「物質的な面」と答えた人の割合は、男性（24.2%：前回調査より4.8%減少）の方が女性（19.6%：前回調査より3.0%増加）より4.6%多くなっており、一方で「心の豊かさやゆとり」は女性（26.6%：前回調査より1.9%増加）の方が男性（21.6%：前回調査より3.0%減少）より5.0%多くなっている。

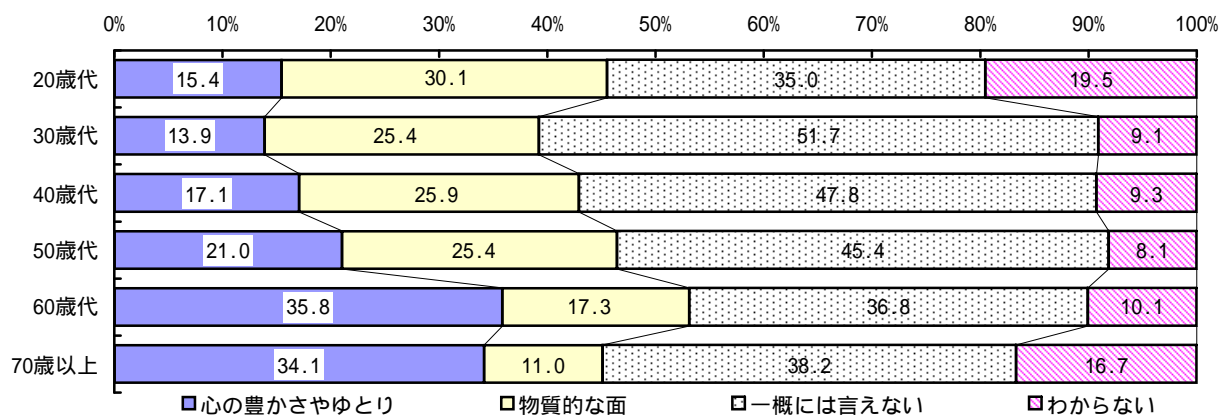
また、「一概には言えない」と答えた人の割合は、男性（43.5%）の方が女性（42.0%）より1.5%多くなっており、前回調査（男性37.6%、女性49.2%）と逆転している。



【年齢別】

年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高いほど多くなっており、60歳代（35.8%）で最も多くなっている。一方、「物質的な面」は、概ね年齢層が低いほど多くなっており、20歳代（30.1%：前回調査より5.5%増加）で最も多くなっている。

また、「一概には言えない」と答えた人の割合は、30歳代から50歳代で他の年齢層と比較して多くなっているが、同項目を前回調査と比較すると、20歳代（17.2%減少）、70歳代（7.8%増加）で大きく変化している。

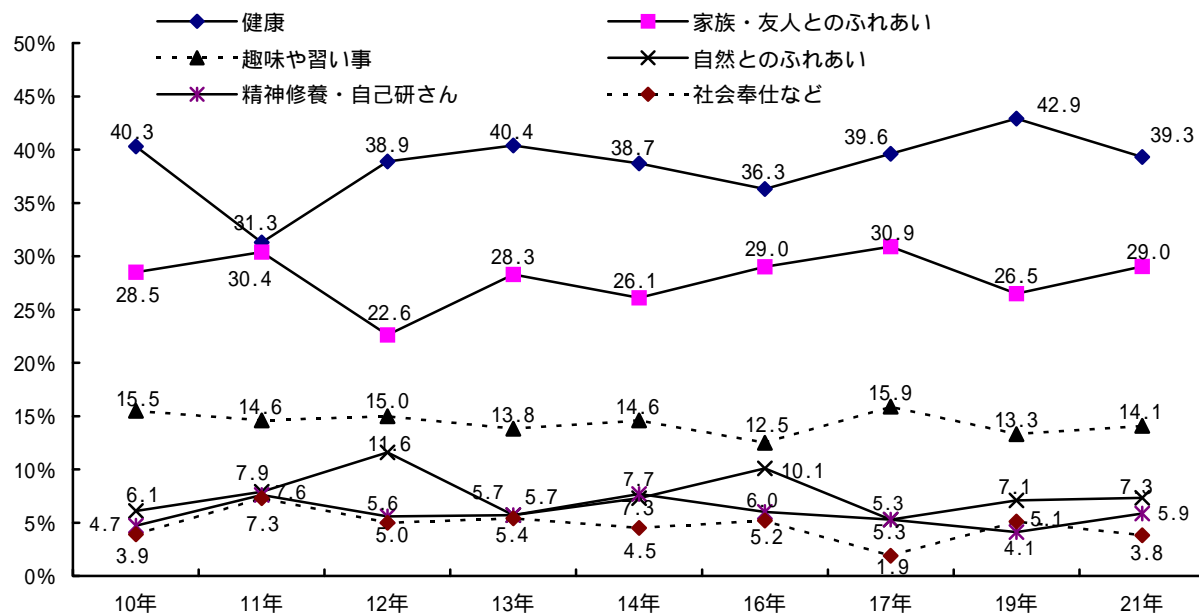


「心の豊かさやゆとり」の具体的内容

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」と答えた人の割合が39.3%と最も多く、以下「家族・友人とのふれあいを大切にする」(29.0%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(14.1%)などの順となっている。

また、経年変化を見ると、「健康を大切にする」と答えた人の割合は、平成16年調査以降増加していたが、今回は前回調査より3.6%減少している。

この他、「家族・友人とのふれあいを大切にする」と答えた人の割合は概ね30%前後、「趣味や習い事に生きがいを見つける」は15%前後で推移しており、大きな変化は見られない。



「物質的な面」の具体的内容

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合が28.0%と最も多く、以下「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」(26.9%)、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(15.0%)などの順となっている。

また、経年変化を見ると、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合は減少傾向にあったが、今回は前回調査より3.9%増加し、前回調査では2位となっていたものが、今回は再び1位となっている。一方、「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」は増加傾向にあり、最も少なかった平成12年調査と比較すると17.5%も増加している。

この他、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」と答えた人の割合は、前回調査より5.6%減少し、平成10年調査以降では平成13年調査に次いで2番目に少なくなっている。

